古町地区城下町旧町名板一覧

NO.	1
町名	小沢町
よみ	こざわまち　고자와마치　Kozawa-machi
由来	坪井川と井芹川の合流点。肥後たばこ産業の発祥地で、明治中期まで刻み煙草製造が盛んであった。

NO.	2
町名	魚屋町1丁目
よみ	うおやまちいっちょうめ　우오야마치 잇쵸메 Uoyamachi-itchome
由来	鮮魚や塩物・干魚問屋などのあった町筋。南側の常在院跡は明治36年創立の五福幼稚園となっている。

NO.	3
町名	魚屋町２丁目
よみ	うおやまちにちょうめ　우오야마치 니쵸메 Uoyamachi-nichome
由来	鮮魚や塩物・干魚問屋などのあった町筋。市電が通るまでは4m程度の道幅であった。

NO.	4	
町名	魚屋町 3 丁目	
よみ	うおやまちさんちょうめ　우오야마치 산쵸메 Uoyamachi - sanchome	
由来	鮮魚や塩物・干魚問屋などのあった町筋。本覚寺跡は明治8年に五福小学校となった。	

NO.	5	
町名	米屋町1丁目	
よみ	こめやまちいっちょうめ　고메야마치 잇쵸메 Komeyamachi - itchome	
由来	米穀問屋と米小売商が軒を連ねた町筋。熊本最初の第九国立銀行があった。	

NO.	6	
町名	米屋町 2 丁目	
よみ	こめやまちにちょうめ　고메야마치 니쵸메 Komeyamachi - nichome	
由来	米穀問屋と米小売商が軒を連ねた町筋。坪井川の舟運でこの地に集積したという。	

NO.	7
町名	米屋町３丁目
よみ	こめやまちさんちょうめ　고메야마치 산쵸메 Komeyamachi-sanchome
由来	米穀問屋と米小売商が軒を連ねた町筋。民謡おてもやんの作曲をした永田稲さんの生家があった。

NO.	8
町名	古大工町
よみ	ふるだいくまち　후루다이쿠마치 Furu Daiku-machi
由来	大工の宿や飯場があった町筋。清正公が熊本城築城の際、肥後一円から集めた。

NO.	9
町名	紺屋町1丁目
よみ	こうやまちいっちょうめ　고야마치 잇쵸메 Koyamachi-itchome
由来	紺屋（染物屋）が住んだことに由来する。明治以降、小間物・畳表・荒物などの問屋が並んだ。

NO.	10	
町名	紺屋町 2 丁目	
よみ	こうやまちにちょうめ　　고야마치 니쵸메 Koyamachi - nichome	
由来	紺屋（染物屋）が住んだことに由来する。明治以降、呉服・小間物・キセルなどの問屋で賑わった。	

NO.	11	
町名	紺屋町 3 丁目	
よみ	こうやまちさんちょうめ　　고야마치 산쵸메 Koyamachi - sanchome	
由来	紺屋（染物屋）が住んだことに由来する。町の一角は江戸期「金屋町」といわれ金物倉庫があったという。	

NO.	12	
町名	横紺屋町	
よみ	よここうやまち　　요코 고야마치 Yoko Koyamachi	
由来	明治 12 年紺屋横町から改称。現在商工会議所の場所には、昭和 9～13 年デパートがあった。	

NO.	13
町名	船場町下1丁目
よみ	せんばまちしもいっちょうめ　센바마치 시모 잇쵸메 Senbamachi Shimo-itchome
由来	船場町は船着場に面し、往来する船で賑わった。明治 12 年に船場上(現･桜町、辛島町)と船場下に分かれた。

NO.	14
町名	船場町2丁目
よみ	せんばまちにちょうめ　　센바마치 니쵸메 Senbamachi-nichome
由来	船場町は船着場に面し、往来する船で賑わった。町内にある源覚寺にちなんで「源覚寺町」ともいわれた。

NO.	15
町名	船場町 3 丁目
よみ	せんばまちさんちょうめ　　센바마치 산쵸메 Senbamachi-sanchome
由来	船場町は船着場に面し、往来する船で賑わった。幕末には藩の洋式船の受入れ準備のため、仮軍艦所が置かれた。

NO.	16	
町名	慶徳堀町	
よみ	けいとくぼりまち　　게이토쿠보리마치 Keitokubori-machi	
由来	慶徳堀は旧白川の名残で、大永の頃順正寺を創建した慶徳という僧に因む	

NO.	17	
町名	上鍛冶屋町	
よみ	かみかじやまち　　가미 가지야마치　　Kami Kajiya-machi	
由来	大工･農耕具類の金具を作る鍛冶職人を集めた町筋であった。	

NO.	18	
町名	古川町	
よみ	ふるかわまち　　후루카와마치 Furukawa-machi	
由来	清正公の河川改修前、河道であったという。当町は長六橋を経て新一丁目に抜ける薩摩街道筋にあたる。	

NO.	19	
町名	河原町	
よみ	かわらまち　가와라마치　Kawara - machi	
由来	白川の際にあたり、かつて「新古川町」といわれていた。ここには真宗三ヶ寺のうち順正寺、延寿寺がある。	

NO.	20	
町名	河原町	
よみ	かわらまち　가와라마치　Kawara - machi	
由来	白川の際にあたり、かつて「新古川町」といわれていた。ここには真宗三ヶ寺のうち順正寺、延寿寺がある。	

NO.	21	
町名	松原町	
よみ	まつばらまち　마쓰바라마치　Matsubara - machi	
由来	清正公の築城以前、このあたりは白川の北岸続きで松林が広がっていたと想像される。	

NO.	22	
町名	紺屋阿弥陀寺町	
よみ	こうやあみだじまち　　고야 아미다지마치 Koya Amidaji-machi	
由来	紺屋町に接した阿弥陀寺町で、度重なる洪水により細工町へ移転した阿弥陀寺門前の町筋であった。	

NO.	23	
町名	東阿弥陀寺町	
よみ	ひがしあみだじまち　　히가시 아미다지마치　Higashi Amidaji-machi	
由来	中阿弥陀寺町ともいわれた。町内にあった阿弥陀寺は度重なる洪水により細工町へ移転した。	

NO.	24	
町名	西阿弥陀寺町	
よみ	にしあみだじまち　　니시 아미다지마치 Nishi Amidaji-machi	
由来	細工町へ移転した阿弥陀寺門前の町筋。西流寺には明治８年まで五福小の前身である西阿学校があった。	

NO.	25
町名	古桶屋町
よみ	ふるおけやまち　후루오케야마치　Furu Okeya-machi
由来	桶などを作る木工細工師が住んだ町筋。おてもやんの一節「夜聴聞詣り」の舞台は普賢寺といわれる。

NO.	26
町名	川端町
よみ	かわばたまち　가와바타마치　Kawabata-machi
由来	大正末の市電開通で大半が道路となる。おてもやんの一節「かわばたまっつぁんきゃあめぐろ」に登場する。

NO.	27
町名	細工町1丁目
よみ	さいくまちいっちょうめ　사이쿠마치 잇쵸메　Saikumachi-itchome
由来	細工町は清正公初の町割の地で、細工職の町筋。後に坪井川沿いは大商家が並び「長者町」と呼ばれた。

NO.	28	
町名	細工町 2 丁目	
よみ	さいくまちにちょうめ　　사이쿠마치 니쵸메 Saikumachi - nichome	
由来	細工町は清正公初の町割の地で、細工職の町筋。山鹿から移された西光寺は熊本の真宗三ヶ寺の一つ。	

NO.	29	
町名	細工町 3 丁目	
よみ	さいくまちさんちょうめ　　사이쿠마치 산쵸메 Saikumachi - sanchome	
由来	細工町は清正公初の町割の地で、細工職の町筋。阿弥陀寺には熊本城の飯田丸を築いた飯田覚兵衛の供養塔がある。	

NO.	30	
町名	細工町 4 丁目	
よみ	さいくまちよんちょうめ　　사이쿠마치 욘쵸메 Saikumachi - yonchome	
由来	細工町は清正公初の町割の地で、細工職の町筋。一駄橋へ抜ける路地はかって羅漢さんが並び羅漢小路と称した。	

NO.	31	
町名	細工町 5 丁目	
よみ	さいくまちごちょうめ　사이쿠마치 고쵸메 Saikumachi - gochome	
由来	細工町は清正公初の町割りの地。「石塘町」とも呼ばれ、清正公が坪井川改修の際、石積みの堅固な堤防を築いた。	

NO.	32	
町名	呉服町1丁目	
よみ	ごふくまちいっちょうめ　고후쿠마치 잇쵸메 Gofukumachi - itchome	
由来	呉服町は、細工町に次ぐ古い町。唐呉服や内地絹物・麻物・木綿物を並べた呉服屋の町筋であった。	

NO.	33	
町名	呉服町 2 丁目	
よみ	ごふくまちにちょうめ　고후쿠마치 니쵸메 Gofukumachi - nichome	
由来	呉服町は、細工町に次ぐ古い町。町内にあった護国寺は学僧の養成所であったという。	

NO.	34	
町名	呉服町３丁目	
よみ	ごふくまちさんちょうめ　고후쿠마치 산쵸메 Gofukumachi - sanchome	
由来	呉服町は、細工町に次ぐ古い町。呉服屋をはじめ様々な業種が軒を並べた。	

NO.	35	
町名	板屋町	
よみ	いたやまち　이타야마치　Itaya - machi	
由来	材木商がいた町筋。明治時代は小沢町と並んで刻み煙草製造が盛んであった。	

NO.	36	
町名	万町1丁目	
よみ	よろずまちいっちょうめ　요로즈마치 잇쵸메 Yorozumachi - itchome	
由来	小間物問屋が集まった町筋、江戸時代創業の製造販売を行うキセル屋があった。	

NO.	37	
町名	万町 2 丁目	
よみ	よろずまちにちょうめ　　요로즈마치 니쵸메 Yorozumachi - nichome	
由来	小間物問屋が集まった町筋。惣社神社には、郷土芸能の「すり鉢舞」が伝わる。	

NO.	38	
町名	鍛冶屋町	
よみ	かじやまち　　가지야마치 Kajiya ー machi	
由来	東唐人町とも呼ばれ、大工・農耕具類の金具を作る鍛冶職人を集めた町筋。往生院跡は鍛冶屋町公園となった。	

NO.	39	
町名	中唐人町	
よみ	なかとうじんまち　　나카토진마치　　Naka Toujin - machi	
由来	川船が坪井川を往来し、ここで荷揚げされた。戦前の賑わいは「花の唐人町」といわれた。	

NO.	40	
町名	西唐人町	
よみ	にしとうじんまち 니시토진마치 Nishi Toujin-machi	
由来	唐人が住んだことに由来するといわれる町筋。心光寺には五福小の前身である西唐小学校が置かれた。	